

# 山口新聞

平成29年9月15日(金)

NO.265



農地・水・環境

守ろう 地域の手で

児童

農業体験する日置小学校

会員の皆さん

## 日置平野の美田を継承したい 市へき保全会管理協定運営委員会(長門市)

265



長門市西部に位置する当会は、日置地区中心部を流れる掛淵川水系の19壙<sup>せき</sup>、3パイプライン地区の二つの管理組合と、土地改良区、小・中学校を含めた協定参加団体を会員に、協定面積は3888.04haに及んでいる。協定地区内の草刈りを行う際は会員に刈り払い機のチップソーラーを配布。長寿命化活動では業者委託により農道整備、用排水路の修復、排水路の堆積土砂の撤去などを実行している。設立以来修築所は、約500カ所を数える。

学校との連携では、小学校にもち米栽培などの農業体験や生態系調査、中学校に用水路の清掃活動をお願いしている。農業

2007年度に「へき地域資源環境保全会」としてスタートし10年が経過したが、農村に押し寄せる少子高齢化の荒波は、一向に治まらない。

今は緑一色の美しさ。四季折々の趣を変えていく田園の風景。農業・農村は私たちに心の安らぎを与えてくれる。500円に及ぶほ場整備された日置平野の美田を守り、次世代に伝えるためにも活動に取り組んでいきたいと考えている。

(事務局長、阿波宏之)  
〔金曜日掲載〕

【メモ】会長江原清△会員402人、農家(375戸)、アグリサポート大津・かみおかの各農事組法人、日置南部土地改良区、日置中学校、日置小学校、日置中学校、19壙・3パイライン地区の各管理組合  
△設立2007年4月19日△連絡先長門市日置上593-26、阿波宏之、電話0833-37-21338

体験は、食育という観点から食

べ物を通して命の循環や勤労の尊さを柱に据え、種まきから餅

つきまで行って子どもたちのふ

るさと意識の高揚に努めている。